

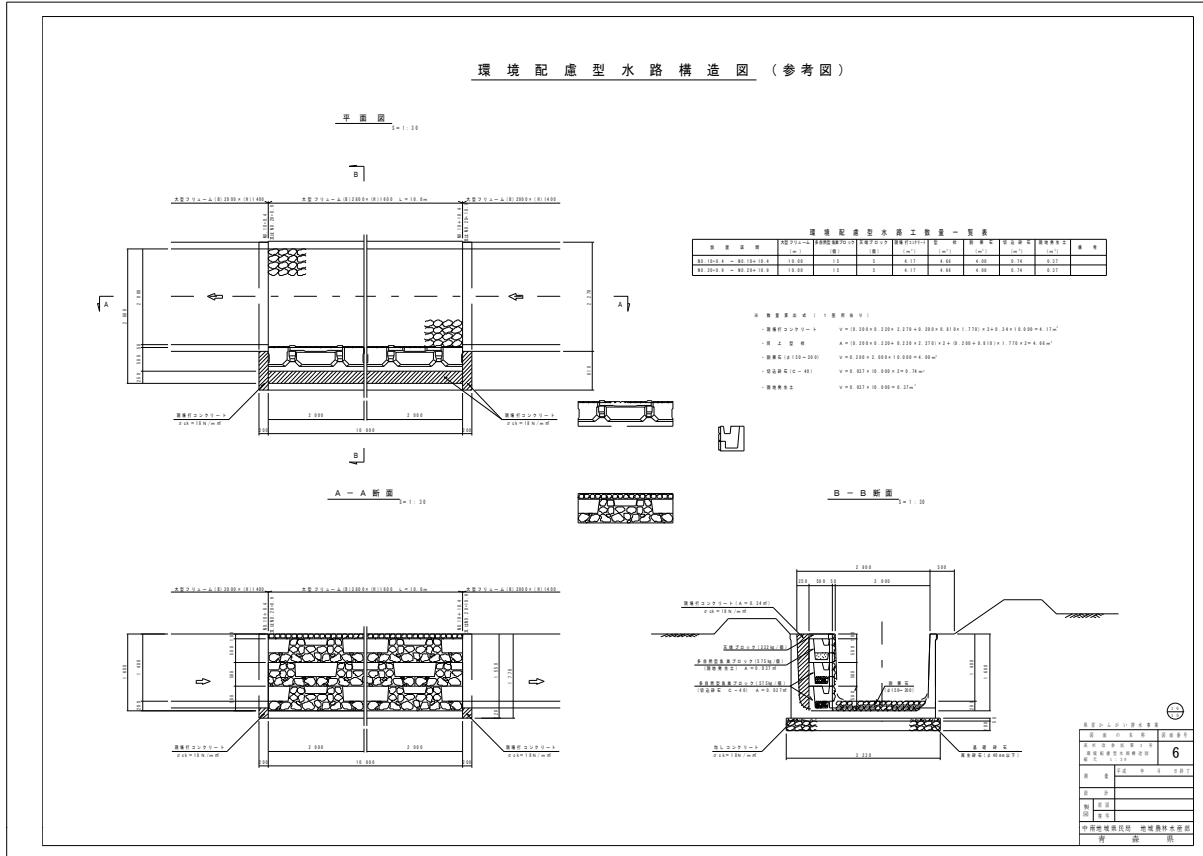
## 環境配慮工事データベース

作成(更新)年月日

平成21年4月1日

事業名	県営かんがい排水事業	地区名	高杉	市町村名	弘前市		
工種	排水路						
配慮事項区分	多様な生息・生育空間の確保	施工年度	平成20年度				
農業地域類型	平地農業	地形勾配	1/500				
事業による影響	3面装工二次製品水路による水生生物の減少						
配慮施設に対する 保全対象生物の 選定及び選定理由	魚類全般						
保全対象生物の生活史等から見た配慮事項							
配慮施設の構造等 を検討する際に留意 した事項	一般部が三面装工であるため、非かんがい期の魚類の生息空間の確保に留意した。						
配慮施設の位置を 決定する際に留意 した事項	対象区間において200mに1箇所10mの延長で施工。						
環境配慮5原則区分	最小化						
配慮施設の構造		施設の設計条件等					
施設名称	湾処水路	用水期間	代掻き期				
箇所数 延長	計画N=2箇所(L=20.0m)		普通期				
			非灌漑期				
主要構造	別添図面参照	配慮施設の非灌漑期の 水の有無、確保状況			有		
		水深(cm)		流速(m/s)		流量(m3/s)	
		1.用水路		1.用水路		1.用水路	
		代掻き期		代掻き期		代掻き期	
		普通期		普通期		普通期	
		非灌漑期		非灌漑期		非灌漑期	
		2.排水路		2.排水路		2.排水路	
1/2流量	0.961m	1/2流量	1.061m/s	1/2流量	1.967m3/s		
護岸		1/10流量	1.382m	1/10流量	1.186m/s	1/10流量	3.192m3/s
		非灌漑期		非灌漑期		非灌漑期	
		水路勾配	1/1800		護岸勾配 土羽勾配	左岸 1:(直) 右岸 1:(直) 左岸 1:1.0 右岸 1:1.0	
施設底	割栗石						
二次製品 使用有無	有	施設諸元	水路緒元: 大型水路B2000×H1400				

施設平面図及び構造図



施設写真



写真説明

残地を有効利用し魚層ブロックを水路内に3段施工し、魚介類の住処、避難場所等として機能。上段部は植生を考慮し、魚層ブロック内に現地発生土が敷かれている。

環境配慮施設の設計条件等の決定根拠・参考文献						
施設の構造・規模の決定根拠等				参考文献(引用、出典)		
排水路としての機能を損なうことなく維持管理も容易であるよう考慮し、保全対象となる魚類の環境条件を創出できるものとした。				環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き1－基本的な考え方・水路整備－		
モニタリング						
区分	調査有無	調査の種類	時期	回数	調査方法	施設の状況
施工前	無					
施工中	無					
施工後	有	魚類調査	H18, H19,H20	2回/年	建網、どう、セル瓶、投網、タモ網	土砂堆積: 魚巢ブロック部あり 本線部なし
工事中 の一時的 避難	避難有無	避難対象生物				
モニタリング 結果概要	施工前					
	施工中					
	施工後	H21年度に実施する予定。				
モニタリング結果 からの評価		H21年度に実施する予定。				

営農を考慮した工法の検討		
営農上の課題、農家の意見・要望	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
維持管理を考慮した工法の検討		
維持管理上の課題	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
環境配慮施設の施工面での留意点、工夫点		
留意点		
工夫点		
環境配慮施設の今後の維持管理方法		
留意点		
環境配慮施設の工事費 (諸経費を含む)	環境配慮型水路(魚巣ブロック) 234千円/m	
実施設計担当者職氏名	中南地域県民局地域農林水産部 水利防災課 技師 二唐 修一	
工事実施担当者職氏名	中南地域県民局地域農林水産部 水利防災課 技師 山口 富弘	
施工後モニタリング担当者職氏名	中南地域県民局地域農林水産部 水利防災課 技師 山口 富弘	
データベース作成(更新)者職氏名	中南地域県民局地域農林水産部 水利防災課 技師 山口 富弘	

モニタリング結果資料

平成21年度に実施予定

その他特記事項